

キャラクター名
小寺 恵太 (コデラ ケイタ)

プレイヤー名

シンドローム	エグザイル		ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	小学生
	パロール					
オプション			年齢	11 (小5)	性別	男
覚醒	無知	衝動	飢餓	初期侵食率	29 %	
出自	金	経験	ラプンツェル	邂逅	紫のジャツに白い襟ひやかなコート	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	2	0	0			2	行動値	7
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	7
精神	2	1	0			3	戦闘移動	12
社会	2	0	1			3	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:魔法 (UGN)	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:学問	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:ウェブ	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:メディア	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
歪みの髪盾		0				対象へのダメージ- (7D+15)。コスト4。ラウンド1回。
歪みの金盾						80↑。対象へのダメージ- (8D+18)。コスト4。ラウンド1回。
時歪みの金盾						100↑。対象へのダメージ- (9D+21)。コスト4。ラウンド1回。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: 色彩の妖精	
コネ: 研究者	
コネ: ハッカー	
コネ: マスメディア	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
起源種	P	N		
大城 響人	P 親近感	N 嫉妬		
碓氷 唯鈴 (ホワイト)	P 好意	N 不安		
魁ヶてる魔女 ブラック・マリゴールド	P 感謝	N ○食傷		
碓氷 結唯	P あこがれ	N 恥辱		
真白 緋乃	P 友情	N 不安		
夢の世界	P 執着	N 悔悟		

最大財産P: 6 残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
デモンズウェブ	5	2	オート	10m	単体	自動	80↑	
効果: 対象へのHPダメージ-[LV+1]D。ラウンド1回								
カンピュセスの籤	4	2	メジャー	至近	単体	自動	-	
効果: 対象のHPを[(LV)D+肉体]点回復。自身不可。								
斥力障壁	5	2	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 対象へのHPダメージ-[1D+(LV×3)]。ラウンド1回								
時の棺	1	10	オート	視界	単体	自動	100↑	
効果: 対象が判定を行う直前に使用。その判定を失敗させる。								
孤独の魔眼	1	4	オート	視界	効果	自動	1/LV	
効果: 自身を含む「対象:範囲」「対象:範囲(選択)」の対象を自身単体に変更する。この攻撃にカバールは行われない。								
壁に耳あり	1	1	メジャー	-	-	情報		
効果: 全ての〈情報:〉の判定+[LV+1]D								
帝王の時間	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 周囲の時間をゆっくり流れるようにする。								
刻の魔術師	★	-	メジャー	至近	効果	自動	-	
効果: 無機物を長時間経過させる								
異形の歩み	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: どんな場所でも移動できる								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

一人称: 僕
 インドア派で読書好きな、大人びた性格のちょっと生意気な男の子。
 読書のジャンルは幅広く何でも読む。
 探偵小説つながりで大城 響人(おおき びいと)とは友人関係。ビートお兄ちゃんと呼んでいる。
 仲良しの碓氷 唯鈴、大城 響人の前では年相応の子供らしい言動を見せる。

色彩の勇者時、髪が伸び金色に変わる。
 戦闘中は金色の髪を伸ばして操り、盾にして味方を守ったり、敵の動きを阻害し行動を制限or攻撃を自身に向けさせたりする。
 また、涙を傷に振りかけることで時間を操作し治癒する事も出来る。

———人物紹介(あらすじ)———
 月虹町に暮らす小学5年生の男の子。
 読書好きで、幼いころからよく父の書斎に潜り込んで勝手に本を読むほどだった。
 色彩の勇者となったのは小学3年生の頃。その時読んでいたラプンツェルをモチーフとした力で、金の髪を操り味方を助ける。
 単独で戦える能力ではなかった為、他の色彩の勇者が戦っている場に現れサポートだけを行っていた。
 幼馴染の六花や結唯が色彩の勇者となったのち陰ながら手助けしていたが、自身が危機に陥った時に助けられ「もう一人じゃないよ」と言われ照れ隠しに悪態をつきながら仲間になった。
 碓氷家の末っ子、唯鈴とは大の仲良し。

———セリフ例———
 「おっと、僕から目をそらしちゃ駄目だよ」